平成 19 年度 **事務事業マネジメントシート** 作成日 平成 19 年 7 月 3 日作成 点検日 平成 19 年 7 月 5 日作成

事務事業名 単独調理校給食室維持管理事業						□ マニフェスト関連 ☑ 全庁横断課題関連					新課題関連		
政策名			総 				づくり	所属部 合志市教育委員会			所属課	学校	教育課
施策名			計 画 2121義務教育の充実				Ē	所属係 学校給食班 学務指導班			課長名	合志.	良一
							担	日当者名[~`´゚'`'''''''``			電話番号	248-	-2102
	予算	로 사가 ㅂ	会計 0 1	款		業	;	去令根	処 学校系	給食法	•		
	事	業期間	<u></u>	年度のあ	<i>₹</i>	単年度繰返 ┗→(開始年	度 53 年	三度 ~	期間阻) 🕒 (限定複数年度→3 年度			を記入 度)
					リ方、手順、詳終 全食客の維持祭事	田。期間限定複	数年度事業[全体計画(其	引間限定複数4		(単位;千円)
(事業の内容) 単独調理校7校の給食室の維持管理 (業務の内容) 給食の提供がスムーズに出来るように、機械・器具の点検等を行い管理する (予算の内訳) 役務費、委託料、使用料及び賃借料 (予算の内訳) 役務費、委託料、使用料及び賃借料 (予算の内訳) 役務費、委託料、使用料及び賃借料 (予算の内訳) 役務費、委託料、使用料及び賃借料 (本の他 一般財源 事業費計(A) 量 人 に正規職員従事人数 件								0					
										費	人件費計 アルコスト(A		0
1	現物	代把握の部の	(DO)								NU ANICA	() (b)	0
① 18 18 治 19 18 2 給 3 給	1.												
(2)	総事	事業費・指標	等の		16年度	17年度	18年度	1 10	年度	20年度	21年	庄	22 年度
	_			単位	(実績)	(実績)	(実績)	()	見込)	(目標)	(目标	漂)	(最終目標)
入 量		郡道府県文 地方付 マの付 一般財 事業費計 E規職員従事	_{出金} 責 也 (A) (A)	千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 人	0	0 0 0 0 17,032 17,032	0 0 0 0 17,500 17,500 26		0 0 0 0 17,500 17,500 26	0 0 0 0 17,500 17,500 26	1′	0 0 0 7,500 7,500 26	0 0 0 0 17,500 17,500
	件 費	延べ業務時 人件費計		時間 千円	0	50 125	12,260 48,672		12,260 48,672	12,260 48,672		2,260 8,672	12,260 48,672
		タルコスト(A)		千円	0	17,157	66,172		66,172	66,172		6,172	66,172
	汪	動指標	<u>ア</u> イ	件数回数				<u> </u>			-		
	交	象指標	ウ ア イ ウ	回数 m ² 人			1,037 21		1,037 21	1,037 27		1,037 21	1,037 21
ア 件数 成果指標 イ ウ ア %													
上位成果指標			<u>/</u> イ ウ	/0				 			-		

合志市

	事務事業の環境変化・住民意見	
	この事務事業を開始したきっか! 食の供給が支障なく行われるようにす	けは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? スカムに関わされた。
祁 百	良の供給が文庫なく行われるようにす	るために開始された。 -
(2)	事務事業を取り巻く状況(対象者	「や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
	設が老朽化している給食室があり、維	
3	この事務事業に対して関係者(信	主民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
自	交方式の継続の要望が上がっている	
2	評価の部(SEE) * 原則は事後語	平価、ただし複数年度事業は途中評価
_	①政策体系との整合性	□ 見直し余地がある ⇒【理由】 → 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
		▼ 結びついている →【理由】 🖜
	この事務事業の目的は市の政策体 系に結びつくか?意図することが結	給食の供給が支障なく行われることは、学校教育の一環として需要であり、義務教育の充実に結びついてい 조
	果に結びついているか?	(ର
_		
目的	② 公共関与の妥当性	□ 見直し余地がある ⇒【理由】 → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映
妥		
当	なぜこの事業を市が行わなければ ならないのか?税金を投入して、達	学校給食法に基づいて実施している
性	成する目的か?	
評価		
価	③ 対象・意図の妥当性	□ 見直し余地がある ⇒【理由】 →3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映
	4.条.4.四.ウ. 边也上 3.4.4. 0. 在四.4.	☑ 適切である ⇒【理由】 →
	対象を限定・追加すべきか?意図を 限定・拡充すべきか?	対象、息凶とも現状で適当である
	④ 成果の向上余地	□ 向上余地がある ⇒【理由】 ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映
	成果を向上させる余地はあるか?	✓ 向上余地がない ⇒【理由】現状維持でよい。現状を維持していくためには事業の継続が必要である。
	成果の現状水準とあるべき水準と	光が、神行でより。光がを神行していくためではず未り、絶形がかめ女である。
	の差異はないか?何が原因で成果	
	向上が期待できないのか?	
_	⑤ 廃止・休止の成果への影響	□ 影響無 ⇒【理由】 →3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映
有勋	 事務事業を廃止・休止した場合の影	▼ 影響有 ⇒【その内容】
	響の有無とその内容は?	MAKANE DIVING CARD
評		
価	@ # N = # L @ W = A \ \	
	⑥ 類似事業との統廃合・連携 の可能性	□ 他に手段がある 🗣 (具体的な手段, 事務事業)
	の可能は 目的を達成するには、この事務事業	
	以外他に方法はないか?類似事業	□ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】5
	との統廃合ができるか?類似事業と	他に類似事業はない
	の連携を図ることにより、成果の向 上が期待できるか?	
	⑦ 事業費の削減余地	✓ 他に手段がない ⇒【理由】✓ 削減余地がある ⇒【理由】✓ ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映
	少 尹木貝以門凞ホ地	
	成果を下げずに事業費を削減でき	維持管理に必要な事業であり削減は出来ない
	ないか?(仕様や工法の適正化、住	
効	民の協力など)	
率性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削	□ 削減余地がある ⇒【理由】 → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映
性	減余地	削減未地がない ⇒【理由】 →3 改革・改善方向の部 (3枚百ジート)に及映 削減余地がない ⇒【理由】 →
評価	やり方を工夫して延べ業務時間を削	
Щ	減できないか?成果を下げずにより	
	正職員以外の職員や委託でできな いか?(アウトソーシングなど)	
	(1.7F7—2274C)	
۸.	⑨ 受益機会・費用負担の適正	□ 見直し余地がある ⇒【理由】 5 → 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
公 平	化余地	☑ 公平・公正である ⇒【理由】 ☐
性性	事業の内容が一部の受益者に偏っ	給食室維持管理は市負担である
評	ていて不公平ではないか?受益者 負担が公平・公正になっているか?	
価	ZEN A AEICA / CO. 0//. :	

事務事業名	単独調理校給食室維	持管理事業	所属部	合志市教育委員会	所属課	学校教育課
3 評価結果の総括の(1) 1次評価者として	と 今後の方向性(次年度 の評価結果	を計画と予算への反 り		<u>)</u>) 全体総括(振り返り、	反省点)	
】 ① 目的妥当性	☑ 適切	□ 見直し余地あり	J .			
② 有効性	☑ 適切	□ 見直し余地あり	,			
3 効率性	☑ 適切	□ 見直し余地あり	, †			
④ 公平性	☑ 適切	□ 見直し余地あり				
J - 1 - 1	_ ~	E SEES AND SE				
□ 廃止□ 休止□ 事業のやり方改善(□ 現状維持(従来通り	効率性改善 ■ 事事 事事 で特に改革改善をしない)	■ 事業統廃合・連携 養のやり方改善(公平性)	改善)	かやり方改善(有効性改		4) 改革・改善による期待成果 E止・休止の場合は記入不要)
(5) 改革, 改善を実坊	まする上で解決すべき誤	題(壁)とその解決第	Į.			
4 事務事業の2次 (1) 1次評価結果の容						
□ 記述不足で □ 一記述不足で □ 一部記述オーク 記述は十分 ②評価の客観性 □ 客観性を欠 □ 一部に客観 □ 客観的な評	評価の記述内容を読ん わかりにくい にのところがある なされている 水準(2次評価を行った いており評価が偏ってし 性を欠いたところがある	後に総合的に判断し いる(事務事業の問題 る	夏点、課題 「認識され	している)		
(2) 2次評価者として	の評価結果		(3)評価結果の根拠とヨ	里由	
① 目的妥当性	□ 適切	□ 見直し余地あり	J			
② 有効性	□ 適切	□ 見直し余地あり	J 👃			
③ 効率性	□ 適切	□ 見直し余地あり	J			
④ 公平性	□ 適切	□ 見直し余地あり	J			
□ 廃止□ 休止□ 事業のやり方改善(□ 現状維持(従来通り	効率性改善 □ 事美で特に改革改善をしない)	□ 事業統廃合・連携 像のやり方改善(公平性)		のやり方改善(有効性改		5) 改革・改善による期待成果 廃止・休止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加 向 上 成 維 果 持 低 下 × ×
(の) ての他と次評価を	会議で指摘された事項					